

7

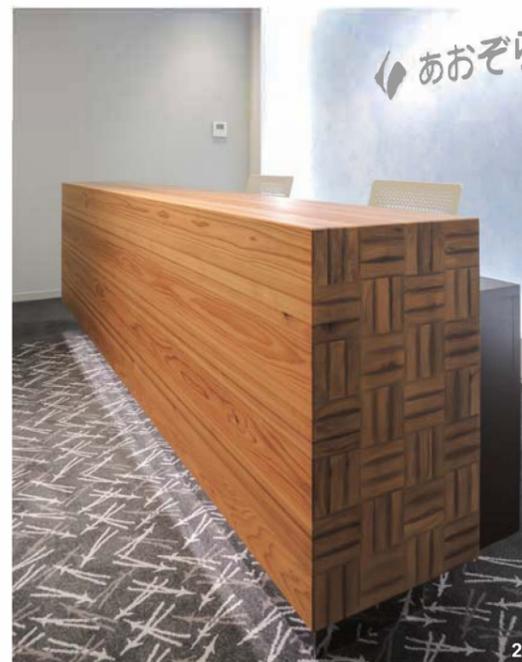
国産材で日本を元気に「メッセージのある場所」を創造する

株式会社あおぞら銀行本社



撮影 / 山本育憲 1

東京四ツ谷。上智大学6号館「ソフィアタワー」に移転オープンした、あおぞら銀行新本社のコンセプトは「AOZORA MUSEUM-メッセージのある場所へ-」。伝統工芸×「あお」でまとめたアートワーク、応接室のテーブルは日本各地の国産材の家具、吉兆の空を展示し、古くからの伝統を伝え日本の各地域を元気にするというメッセージあふれる本社を実現しました。乃村工藝社様のもと参加させていただき、当社の主役は国産の「杉材」。「日本を旅する」と題された1フロアに計25室ある応接室では、3室の特注テーブルと、LDチェア（KISARAGIシリーズ/KJ260A）を納めました。各部屋に並ぶテーブルは「杉化粧圧縮板目材」「杉木口集成材」「杉圧縮柱目材」の3種類の技法で構成し、役員フロア受付には「圧縮杉集成材」を使用するなど、「杉材」の魅力を様々な技法でカタチにしました。オフィス空間での「日本の木」を見て触って感じられる家具製作はお任せください。

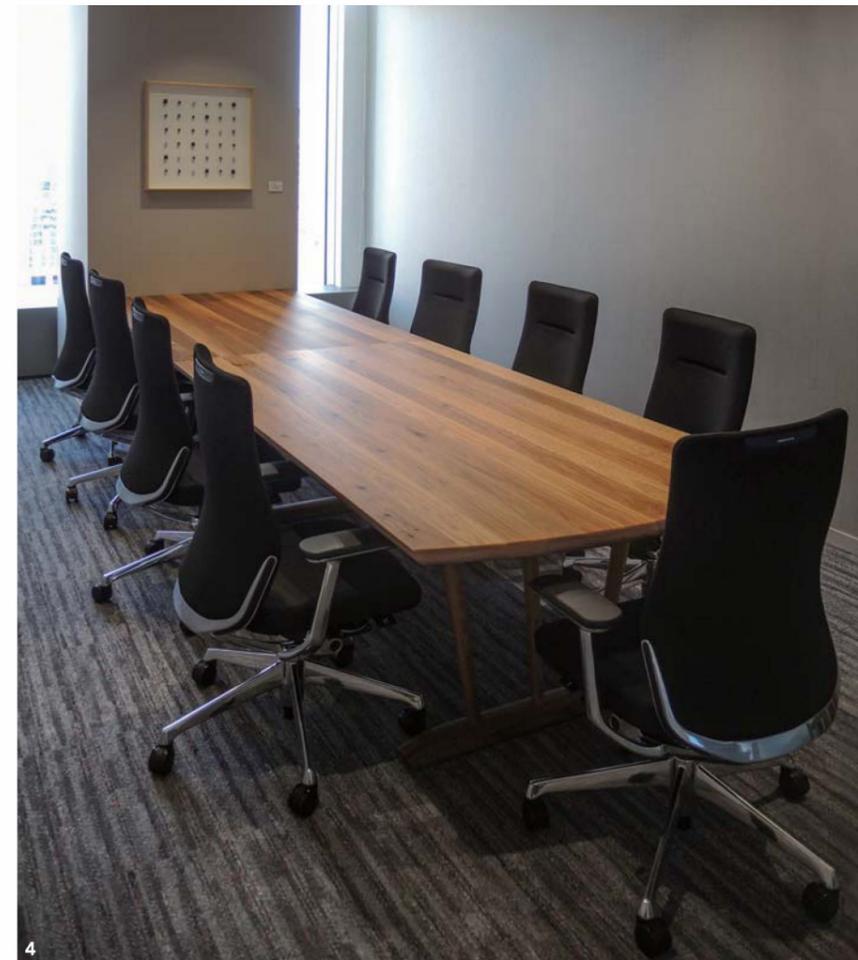


2



3

撮影 / 山本育憲



4

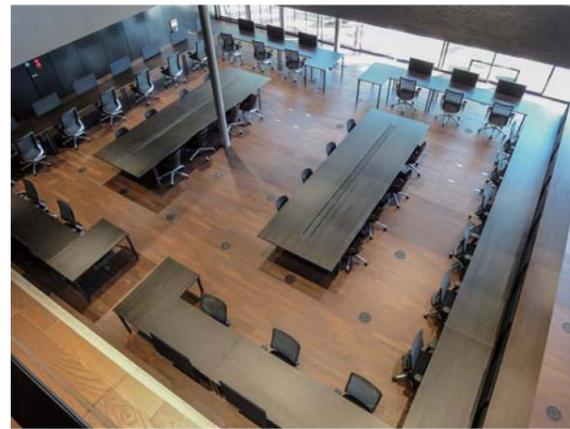
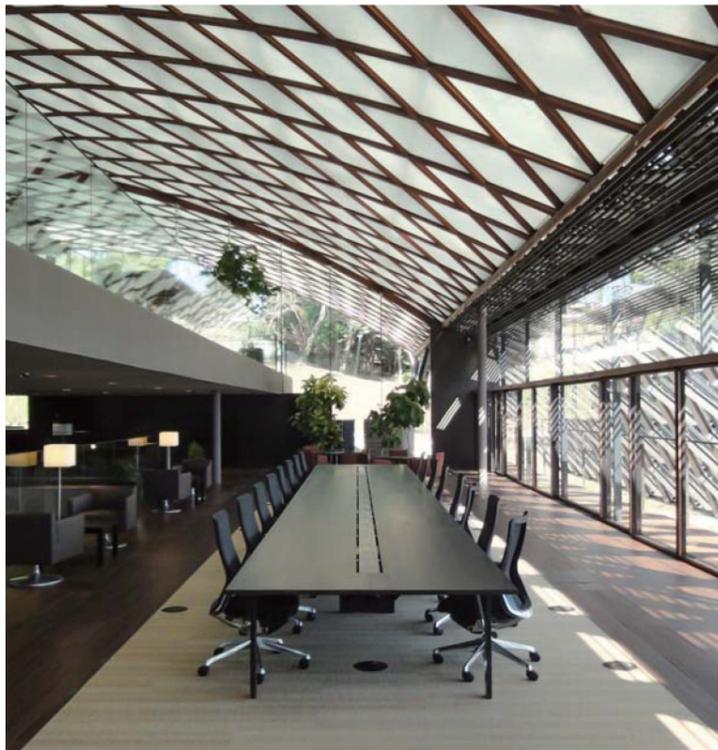
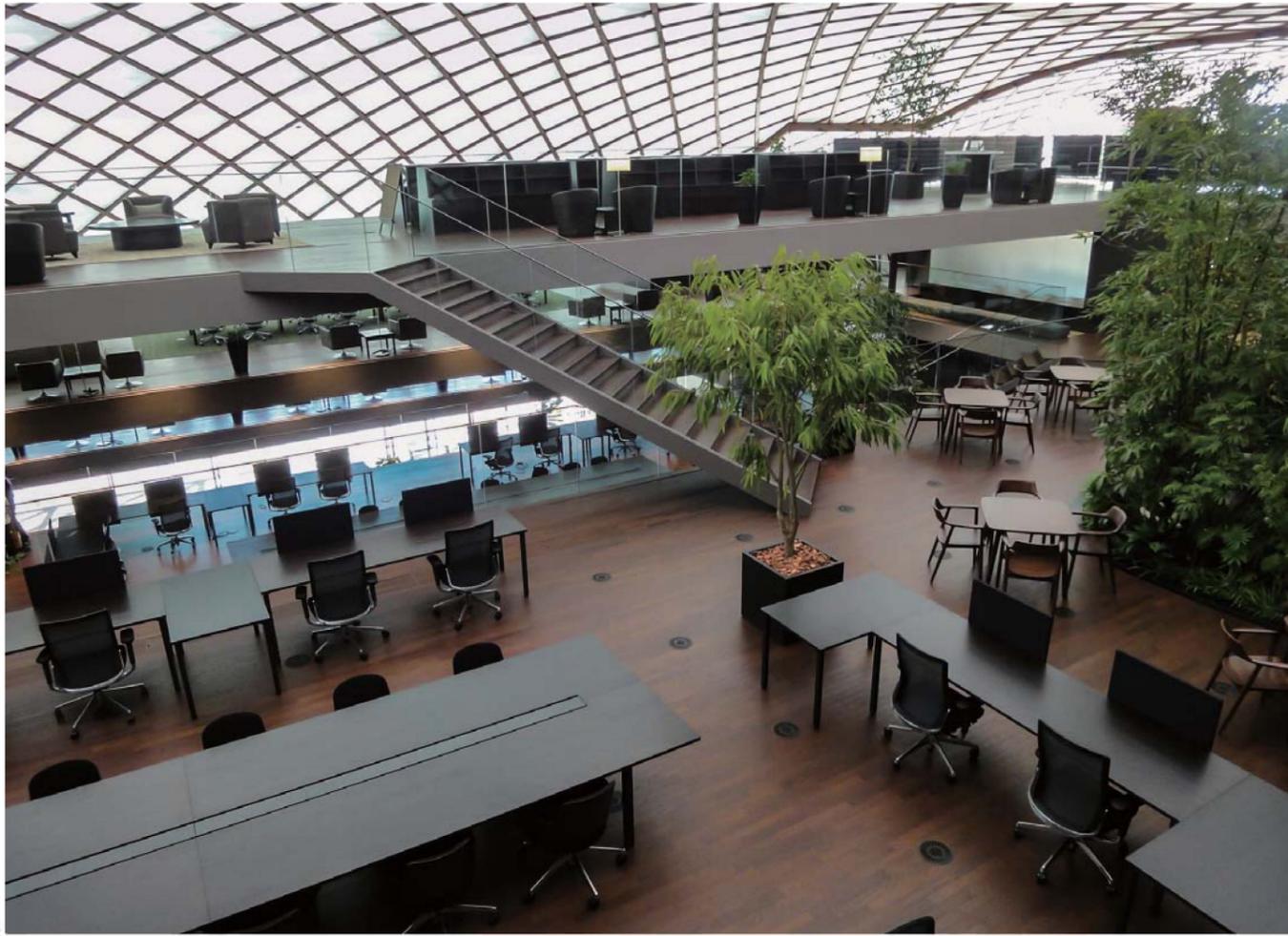


5

施設名：株式会社あおぞら銀行本社
所在地：東京都千代田区麹町
設計事務所：株式会社乃村工藝社

1-2. 長さ2800mm 高さ900mmの「圧縮杉集成材」を大胆に使用した受付カウンター。まるでそこに木材が浮いているような錯覚を覚える仕様。3. 天板厚さ100mmの「杉木口集成材」で組み上げた存在感のあるテーブル。4. 「杉化粧圧縮板目材」の美しい模様を「雲」に見立てた提案。5. 「杉圧縮柱目材」を使用した「KISARAGI」シリーズは、空目の凛とした表情と直線の引き立つ形態で上質な空間を演出している。

ROKI Global Innovation Center -ROGIC-



施設名：ROKI Global Innovation Center -ROGIC-
 所在地：静岡県浜松市
 設計事務所：小堀哲夫建築設計事務所
 プロデュース：株式会社岡村製作所

まるで映画のセットのような空間に並ぶ「杉板目圧縮天板」。岡村製作所様のスチール脚部と、当社製作の圧縮天板が融合し、普段何気なく触れるオフィスデスクに「日本の木」をダークトーンで活用。

ジャパンマテリアル株式会社新社屋



施設名：ジャパンマテリアル株式会社新社屋
 所在地：三重県三重郡菟野町
 設計施工：横内建設株式会社

「役員会議室に特徴のあるテーブルを」とのご要望で、スギの木口寄木材の4.8mのテーブルを納品。紺色の塗装が、スチールの椅子との相性が良い。リフレッシュスペースは木の暖かみある空間で統一されている。